

漢方一口メモ

## 2024「終活医療とは何か」

終活医療なんぞといったところより、がんの方々のために緩和ケアとか終末医療、看取りは、といったことがある。院長の「終活医療」ってどんなことをやろうというのだろうか。

人生は済みごとと言ゆれる。私も医学の道に進むことには、皆さんの沢山の人生の済みを寄りせしめいたゞき。私の人生では経験済ほほうは体験から多くの済みをさせてもらつてると感じています。ここに多くの縁によりて今日まで導かれました。

漢方を学ぶ縁も私の人生を導き、原因があるから縁を生ずるものと痛感します。漢方の古典には、現代医学で山川らはい“いのちのくみ”、“人生のくみ”を教えていました。

自分の人生に、なぜがんやうの難病が起つたのだろうか。なぜお医者 Sir 通りしこしたのに治らなければどうか。こんな悲しみからをなぜ味めなければならぬのだどうか。神様は自分を何と比べといらうかと皆さん、自分だけにしかきこえない声で訴えてあられるのを私は感じます。

水曜日、1時間だけですが、私の学んだことを少しごとお伝えざさらの恩として終活医療と私は今オープンの機会に言ひましたのでした。皆さんの病の経過を書き下されば、そのナゾ解きのお手伝いがござらうと思います。またTELなどご受付に相談いたゞけたら随時お受けお待ちします。お金もいだきますから遠慮なくお申し付け下さい。

院長

“起る出来事には必ず意味がある。”